

# 一 般 質 問 通 告 書

2024年 2月13日

前  
午 10時 05分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2024年 2月13日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 竹内 祐子 印

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	自治会との市民協働について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市民協働について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="204 521 730 562">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="188 573 1342 775">1月に議会報告会を3年ぶりに9か所で行い、様々な意見を頂戴しました。能登半島地震直後だったため、防災対策、自治会や消防団など役員のなり手不足問題、小中学校の再編、廃棄物対策、高齢化による空き家問題等たくさんの意見交換をさせていただきました。</p> <p data-bbox="188 786 1342 987">議会報告会へは自治会役員の方が多く参加していただいておりますが、当局への質問が多いことを感じました。市は自治会との市民協働をどのように行っているか、自治会の困りごととどう向き合っているのか疑問を感じました。</p> <p data-bbox="188 999 1342 1099">「住み続けたいまち」を目指すためには、根幹である自治会と市が協働で住民の福祉向上を目指したいものです。</p> <p data-bbox="188 1155 1342 1312">「地域担当職員制度」というものがあるのですが、各地域に相談や助言ができる職員を配置し、自治会の活性化と行政がスムーズに運営できるようにしてはどうかと思います。</p> <p data-bbox="188 1323 1342 1682">地域担当職員は通常業務も行います。月に2回くらい若手と課長級の2名が1組となり担当の自治会の会合や行事に出かけます。その時に市の情報提供や自治会の相談等を受けます。若手の職員には地域住民との交流でコミュニケーションやファシリテーション能力を高める研修の一環とします。問題・相談対応については課長級が対応します。地域担当職員制度を導入することで縦割り行政に横串を入れていくようになりますので、市の施策や計画が作成しやすくなります。</p> <p data-bbox="188 1693 1342 1794">デジタル社会もいいことだと思いますが、少子高齢化社会を乗り越えるためには、職員が地域に寄り添うことが必須だと考えます。</p> <p data-bbox="204 1850 443 1890">(質問の目的)</p> <p data-bbox="228 1962 1018 2002">市民協働で持続可能な自治会運営を構築するため</p>	

(質問事項)

1. 自治会との市民協働についてどう考えるか。
2. 自治会活動の現状と課題を伺う。
3. 自治会活動をスムーズに行うために「地域担当職員」を配置してはどうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

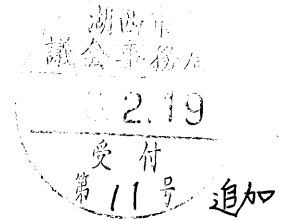
2024年 2月19日

前

午 1時51分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2024年 2月19日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 竹内 祐子 印

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
2	施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	施政方針について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p>	
<p>市長施政方針の中で、子どもを取り巻く様々な課題の解決に向け、いじめの早期発見・防止、解決に向けて、こども未来部に「いじめ防止対策準備室」を新設し、事業開始のための準備を進めてまいります。またスクールロイヤーや生徒指導相談員を新たに拡充・活用し、学校が指導・助言を受けられる体制を整え、子どもたちや保護者が安心できる学校づくりに、取り組むと述べられました。</p>	
<p>(質問の目的)</p>	
<p>いじめをなくすためには、行政の力だけでは限界があります。まち全体での見守りが重要です。多くの人声掛けで防ぐことができるいじめもあります。まち全体でいじめ対策に取り組むことを提案させていただきます。</p>	
<p>(質問事項)</p>	
<p>1. いじめは子ども社会だけでなく、大人社会の中にもあります。子どものいじめ問題だけを解決するのではなく、いじめの根っこにある「人権」について学ぶことが大事なことだと思います。大人が差別のない対応をとることで、子どもは安心するものです。「人権週間」に各学校の児童会や生徒会で「いじめ追放宣言」や市民対象の「人権講演会」等を行うことで、いじめの防止をしてはと考えますがいかがですか。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和6年2月13日

午前10時30分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。



令和6年2月13日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 三上 元 (印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	能登半島大地震に学ぶ 地元・浜岡原子力発電所の問題
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	能登半島大地震に学ぶ 地元・浜岡原子力発電所の問題
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当市は浜岡原発から 60Km の被害地元にあたる。</li> <li>2. 能登半島の志賀原発は基準地震動よりも大きな揺れ（ガル）になり、想定になかった油もれが 2 万リットルと大量に発生し、敷地内で 35 cm の段差も生じ、冷却能力の一部が失われた。危機一髪だった。</li> <li>3. また震源地の珠洲市にも原発計画があり、2003 年に断念に到るまで 28 年間もの間議論され、市長選挙の争点でもあった事を思うとぞっとする。</li> </ol> <p>(質問の目的)</p> <p>元日に発生した能登半島大地震から学ぶ事は多い。この中で一番大きな点は「想定外」という言葉があちこちで聞こえてくる点である。</p> <p>阪神大震災並みの M7.3 までの大地震は発生しないと多数派の地震学者は予測していた。2007 年の能登半島地震も M6.9 であり、想定内であった。しかし今回の地震は阪神大震災の 2 倍を超える巨大な地震であった。</p> <p>志賀町の稲岡町長は昨年 12 月に当選した時には、「志賀原発もすぐにでも稼働させよう」と言っていたが、この実情を見て、「再稼働の道は見えてこない」と考えを改めたと報じられている。</p> <p>そんなことから原発に関心がある市民の方々から、「市長の原発に関する考え方を、もう一度聞いてくれ」との意見が私に届いているので、原発に関する被害地元としての市長の考え方を問う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原発の稼働には地元の市町村の意見を尊重するとされているが、地元の定めはあいまいである。原発の立地する一つの自治体か、地元 4 自治体か、31Km 圏の 11 自治体か、県内すべての自治体かなどが考えられるが、被害地元の中に湖西市を含めてもらうよう、国や県に働きかけをする考えがあるかどうかを伺う。</li> </ol>	

2. 能登半島大震災では多くの道路が通行不能になった。浜岡で同様に地震と津波と原発事故が同時に発生した時の避難計画は、県と各自治体が作成することになっている。

湖西市は60Km離れているので、避難する側か受け入れ側か、わからないので両方を考えなければならない。その計画はされているのかを伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



# 一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 2 月 13 日

前  
午 11 時 18 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 6 年 2 月 13 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会 山本 晃子

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	令和5年9月に一般質問をした損傷が見られる太陽光設備の改善について
2	小中学校へ配架される図書について
3	中学校歴史教科書の採択について
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	令和5年9月に一般質問をした損傷が見られる太陽光設備の改善について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和5年9月の定例会の一般質問で神座にある損傷した太陽光設備について質問致しました。ひしゃげたパネルによって土壌汚染、水質汚染の可能性も否定できず、当局より設置業者に改善していただくよう対応いただけるという御回答をいただきました。しかしながら、約5か月が経過しようとしている現時点で改善されていないため、確認させていただきます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市民の安心、安全のため。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 当該太陽光設備の改善に関して進捗状況をお尋ね致します。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	小中学校へ配架される図書について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>日本法人モデルナ・ジャパン株式会社が株式会社 Gakken と共同制作した、小学生向けの漫画書籍、「学研まんがでよくわかるシリーズ」の「mRNA のひみつ」という書籍が、株式会社 Gakken を通じて日本全国にある約 20,000 の特別支援学校を含む全ての小学校、約 3,200 の公立図書館、約 800 の児童館などに寄贈されています。私も本市図書館で借りて読んでみましたが、タイトルが「mRNA のひみつ」とされているにも関わらず、mRNA の役割の話というよりも、モデルナ社が製造している mRNA ワクチンの医療への利用についての説明がなされ、ワクチンの話を主体とした mRNA ワクチンのイメージアップのために描かれているように思われます。子供達が興味を持つ様に恋愛要素も交えた物語となっており、mRNA ワクチンを抵抗なく受け入れてしまう事が容易に想像されます。しかしながら、mRNA ワクチンはまだわからない事が多く、実際に小学生の子どもを持つ保護者からも心配の声が届いています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>子供達の健康や命に関わる内容を、親の目の届かない図書室を通じて、多くの知識や経験を持たない子供たちの目に触れさせる事は果たして適切なのか、小中学校に配架される図書はどのように選定されているのかと疑問に思い質問致します。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中学校の図書室に採用される書籍が児童生徒にとって適切なものか、把握、確認をされているのでしょうか。</li> <li>2. 寄贈された図書を学習教材に使用する予定はありますか。</li> </ol>	

番号	主 題
3	中学校歴史教科書の採択について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 26 年度版、子ども若者白書（内閣府）を見ると、調査対象国（日米英独仏韓スウェーデン）の中で日本の若者の驚くべき結果が浮き彫りになっています。例えば、日本の若者は「自分自身に満足している（自己肯定感）」最下位。「自分には長所がある」最下位。「うまくいくか分からない事にも意欲的に取り組む」最下位。「社会問題に関与したい」最下位。「社会を変えられるかもしれない」最下位。「40 歳の時、幸せになっている」最下位。「将来への希望がある」最下位。</p> <p>「つまらない。やる気が出ない」1 位。「憂鬱」1 位。という非常に憂慮すべき結果です。</p> <p>この調査結果は今から 10 年前のものですが、令和 4 年度の全国の不登校児童生徒の人数が 299,048 人と過去最高となっている事、また本市においても 166 名の児童生徒が不登校となっている事から考えても恐らくこの結果が改善しているとは考えにくいと思われます。そして、前回の定例会では、不登校の理由の大半が無気力によるものとの答弁でした。この無気力という事に関しては個人的に違和感があるものの、子どもたちの自己肯定感の低さは、どこから来るのでしょうか？</p> <p>イギリスでの例を紹介致します。</p> <p>過去にイギリスで行われていた教育は、「人種差別に満ちた侵略国家」と非難し、国旗、キリスト教、君主制に対する激しい憎悪を煽るようなものでした。当時の教育方針の基となった、「1944 年教育法（バター法）」の中心的内容の一つは、「イギリス帝国主義を批判する歴史教育の推進」でした。イギリスの植民地支配や奴隷貿易などを、ショッキングなイラストと共に教えていました。こうした自虐史観教育にサッチャー政権は、「1988 年教育法」を発表し、教育の抜本的改革を行いました。国定カリキュラムを策定し、歴史教育の大幅な是正や、宗教教育の見直しを実施。歴史時間の半分はイギリス史</p>	

にあて、植民地支配や奴隷制度は決してイギリスだけが行ったものではなく、世界が反省すべき課題として捉えるようになりました。また、植民地支配による搾取の指揮官とされていたヴィクトリア女王についても、女王主催の大英博覧会（1851年）は、世界の産業国家イギリスの繁栄を誇る一大イベントとして描かれました。

これらのサッチャー政権の教育改革は、教育の質の向上という点において、大きな成果をあげました。少年犯罪者数は1977年時点で20万人を超えていたのに対し、2002年には10万人に半減。義務教育修了テストで標準点以上を取った生徒の割合は、1954年は10%と低迷していましたが、1998年には46%と大きな改善を見せたと言われていま

す。これらのイギリスの例からも、愛国心を育む教育、自虐史観教育からの脱却という事が、子供たちの人生に大きく影響をもたらすといえます。湖西市の子供達にも愛国心を育み、自己肯定感を高め、自分自身そして日本人としての誇りを持てるような歴史教育を強く望んでいます。そのためにもどのような歴史教科書を選択されるかは生徒にとって非常に重要な問題と考えます。

#### （質問の目的）

中学校歴史教科書の採択は、教育基本法第2条（教育の目標）のもとに、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」と明記されています。

また、中学校学習指導要領「生きる力」の総則には、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し」と書かれています。そして、歴史的分野の目標では、「歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。」とあります。

実際にこれらの事に基づいて、本市中学校の歴史教科書が採択されているのか確認させていただきたく質問致します。

(質問事項)

1. 湖西市における中学校の歴史教科書は、誰によってどのような過程を経て採択されているのでしょうか。

2. 湖西市の中学校の歴史教科書は、現在帝国書院が採用されています。教科書無償措置法第15条では、『使用する教科用図書を選採したときは、遅滞なく、当該教科用図書の種類、当該教科用図書を採択した理由その他文部科学省令で定める事項を公表するよう努めるものとする。』とあります。湖西市では、どのような理由で帝国書院の教科書を採用し、どのような方法で当該教科書を採用した理由を公表されているのでしょうか。

3. 湖西市において、歴史教科書を選採するにあたり、自虐史観教育からの脱却について、また子供達が自己肯定感を高められるという観点からお考えいただいていますでしょうか。

# 一 般 質 問 通 告 書

令和6年2月13日

前  
午11時22分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和6年2月13日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 二橋 益良



質問方式 (○を付ける)		○一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	湖西市地域防災計画に基づく行政と自主防災会の在り方について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市地域防災計画に基づく行政と自主防災会の在り方について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>年明けの1月1日元旦16時10分に発生した能登半島地震は、穴水町の北東42kmを震央として湖西市でも震度3と横揺れが20秒ほど続き、突然の出来事ではあるがテレビの地震情報に釘付けとなりました。すぐに気にしたのは津波情報でしたが予測の範囲が把握できなく、誰しも身構えるばかりではあったかと思えます。その後次々と情報が入るたびに改めて災害の恐ろしさを感じる事となりました。</p> <p>また、今でも被災地の皆様方が生活の不自由さと復興作業で疲弊していると思うと他人事のようにありません。湖西市でも予測される南海トラフ地震に備えるための防災意識は高まっていることと思えます。個人の意識はそれぞれで異なりますが、いざとなった時を予測し市はもちろん、地域でも自主防災会による防災訓練や防災機材の準備が毎年行われているところですが、湖西市地域防災計画に基づき自主防災会の充実を充分図らなければなりません。「起きてから気が付くのではなく」想定に基づいた最善策こそ重要になってきます。防災の経費は、いつ起こるかわからないことへの財源投資ではあると同時に、ランニングコストを考えると多額の費用を予測されますが「命を守る」ということが最善目標であり、そのためにはしっかりとした予測精査が重要となります。そしてソフト面での災害意識と、まずは自助行動の啓発が課題と感じます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市地域防災計画に基づく行政と自主防災会の現状と課題につきお聞きします。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 湖西市の防災対策は、地域防災計画に基づく各地区の自主防災会の位置づけや役割はどのようになっているか。</p>	



2. 湖西市では自主防災会は一元的に確立しているか。  
また、それぞれ十分に機能できているか。
3. 防災倉庫並びに防災機材は、充分に対応できているか。
4. 機材等の整備に対する補助規定は、確立しているか。
5. 実際には、公助の範囲は限られるが地域では即座に自助・共助の原則から自主防災会に頼るところとなるがどうか。
6. 市民への自助・共助の啓発は、どのように行っているか。
7. 避難所立ち上げと運営は、それぞれの地区対応であるが共通認識の観点から指導はどのようになっているか。
8. 行政の重要な対策は、生活インフラの復旧復興であるがどうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 2 月 13 日

前  
午 11 時 59 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 6 年 2 月 13 日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 *福永桂子*®  
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市におけるジェンダーギャップ解消の現状について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市におけるジェンダーギャップ解消の現状について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>ジェンダー平等を推進するべく、1999年に施行された「男女共同参画社会基本法」の第14条第3項の規定に基づき、湖西市は、「男女共同参画推進計画」を策定し、男女がお互いを認め合い、支え合いながら自らの能力を発揮して、いきいきと輝く社会を目指してきました。この計画は、国・県の「男女共同参画基本計画」と整合を図り、「湖西市DV防止基本計画」「湖西市女性活躍推進計画」を兼ねています。また、「職住近接」を推進している、第6次湖西市総合計画においては、共生社会の実現に向けた具体的な個別計画として位置付けられています。</p> <p>この計画は、性の多様性に関する理解・取組の促進、女性の参画推進、地域活動への意識、男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施など、多岐にわたる施策を含んでいます。</p> <p>しかし現状では、日本、そして世界的に見ても、ジェンダーギャップは依然として深刻な問題です。世界経済フォーラムによる2023年のジェンダーギャップ指数では、日本は146か国中125位と低迷しています。日本全体としても女性の政治参加や女性の管理職への登用を含め経済活動の促進が急がれています。</p> <p>企業レベルでは、女性の管理職比率の向上や職場における性別による不平等の解消に向けた取り組みが進んでいます。</p> <p>例えば、地元静岡銀行では、女性の活躍を含めダイバーシティ推進のため、課長級以上の女性比率について「2031年3月末までに40%以上」を目指すとともに、女性のキャリア開発・マネジメントを担う人財の育成に力を入れ、積極的な配置や登用に取り組んでいます。さらに育児関連施策を「いくさぼプログラム」と総称し、妊娠活動から小学校修学前までを切れ目なく、仕事と私生活の両立支援制度を拡充しています。</p> <p>湖西市においても、具体的な取り組みを続けていくことが大切です。ジェンダー平等は人権の問題だけに留まりません。男女共同参画の推進は、市の発展、経済成長、そして市民一人ひとりの豊かな生活につなが</p>	

っています。移住定住を呼び込むための湖西市の魅力アップにも重要な要素になります。

私たちが直面しているジェンダーギャップの問題は、単に数値目標の達成だけでは十分に解決できません。女性の管理職比率の向上だけでなく職場環境の改善、男女共同参画の意識改革、ダイバーシティの促進など、より広範な視点からのアプローチが必要です。

#### (質問の目的)

湖西市のジェンダー平等に関する取り組みの現状、効果、および将来の見込みについて、具体的かつ詳細な回答を得ること。これらの質問を通じて、市の施策が市民の生活の質の向上と市の発展にどのように寄与しているかを明らかにし、必要な改善点や新たな施策の提案につなげることを目指します。

#### (質問事項)

1. 国の目標では女性管理職の割合を2030年までに30%にすることを目指していますが、湖西市では過去5年間で市職員の女性の管理職の割合はどの程度増えましたか。また、その割合が30%を達成する見込みはありますか。そのための具体的な計画を伺います。
2. 湖西市特定事業主行動計画に基づく女性職員の活躍推進に向けた数値目標への取組実施の現状をどう認識しておられるか、またその数値目標を達成するための取組状況と課題について伺います。
3. 市職員の登用、特に管理職への登用はどのように行われているか伺います。
4. 市職員における過去3年間の男女別の離職率、休職率を伺います。
5. 過去3年間の夏季休暇取得率と年次有給休暇取得率、それぞれの平均取得日数をお聞きし、それを踏まえた現状を伺います。
6. 夏季休暇を5日間連続で取得することを促進するため取組みを伺います。

7. 過去3年間の市職員の男女別の育児休業取得率と平均取得期間を伺います。また、180日以上取得した者の男女別の割合を伺います。

8. 市のワークライフバランスの取り組みの現状と課題を伺います。

9. 静岡銀行グループのSDGsの5“ジェンダー平等を実現しよう”への取組について市はどのような見解をお持ちでしょうか。

10. 女性職員が自分のキャリアをデザインする市独自のサポート体制はありますか。その為にどのような取組をしていますか。

11. 事業目的の一つに「すべての職員が能力を発揮し、市民の暮らしを支えている」とする豊岡市役所のキャリアデザインアクションプランについての見解をお聞かせ下さい。

12. 藤枝市の人材育成の新しい取組について、市はどのような見解をお持ちかお聞かせ下さい。

13. 湖西市の男女共同参画推進計画に、市の管理職に占める女性の割合の数値目標、育児休業と介護休業の取得率の数値目標を設定してはどうでしょうか。

14. 湖西市の男女共同参画推進計画に定められている「男女共同参画社会づくり宣言事業所数」の達成状況を伺います。

15. 性別による差別や固定観念にとらわれない、多様性を受け入れる社会を実現するためには、市民一人ひとりの意識改革も必要となりますが、どのように湖西市の社会にアプローチして行かれますか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること